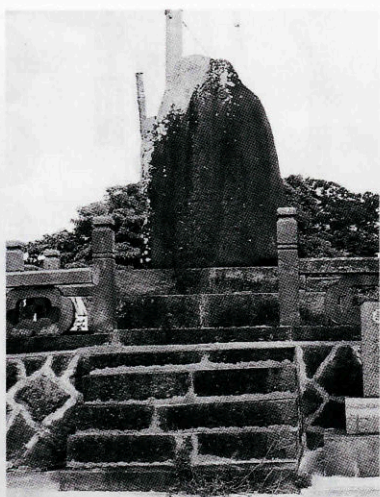


探訪 長門のいしおみ ⑩

深川仙崎連合耕地整理
「克終」の碑

大津高校正門前から市道を1000メートルばかり南へ行くと、左側（東側）にこの碑がある。明治末期、深川村大字東深川と仙崎村大字瀬戸崎連合の組合が、耕地整理をおこなったときの記念碑である。大正3年（1914）10月の建立。

耕地整理の区域は、東深川から仙崎湾に注ぐ江の川周辺に広がる水田地帯。碑文に「仙崎村原白濁付近は灌漑の便が悪く、毎年のようにひでの被害がある。深川村沖田は半ば沼沢と化し、カモなどが飛来するような有様である。古来、ともに荒れるにまかせ：」（原文は漢文）とあるように、この地域は耕地としての経済性が低かった。



このような事情から、行政の指導で耕地整理を実施することとなった。事業は面積が200畝余、土地所有者が400人を超える大規模なもので、事業内容も、区画整理・暗渠排水・動力揚水施設など、県下でも特色のあるものとして注目された。

明治41年（1908）7月起工し、同44年4月、「畦畔整然、水路四通」の美田が完成した。できる限り経費の節約に努めた結果、工費は、当初の予算より4分の1も少ない、3万余円であった（碑文による）。

題名の「克終」とは、困難に打ち克つて事を終える意で、筆跡は当時の県知事・渡辺融。その下に刻まれている碑文の作者は、郷土の文人・横山健堂。

広大な農地も、その後大きく姿を変えた。鉄道の敷設、市街地化などにより、いまでは当時の面影はない。

※施工時の米価は60キログラムが6円16銭。

（正）

（寄稿）長門市郷土文化研究会

集中豪雨に対する備えを万全に！

梅雨の季節を迎え長雨や集中豪雨による災害の発生が予想されますので次のことに注意してください。

- ・テレビやラジオの気象情報をよく聞く。
- ・家の付近の崖やよう壁に異常がないか調べる。
- ・側溝のゴミや土砂をとり除き排水をよくしておく。
- ・避難場所を家族で確認しておく。

【平成12年度全国統一防火標語】

「火をつけた あなたの責任 最後まで」



火災時の問い合わせは

☎119

長門地区消防本部・中央消防署

☎3111